

WHO緊急会合 危険性を検討

世界保健機関(WHO)は26日、南アフリカで確認された新型コロナウイルス

ルスの新たな変異ウイルスの危険性について検討する緊急会合を開いた。新たな変異型は専門的には「B・1・1・1・529」と呼ばれる。WHOがア

ルファ型やデルタ型などと同等の「懸念される変異型」か、1段階低い「注意すべき変異型」に指定すれば「ニュー型」と命名される見通しだ。

まだ新たな変異型の性質はほとんど分かっておらず、詳細な分析はこれからだ。WHOの報道官は26日、「リスクに基づいた科学的なアプローチ

が必要だ」として、各国に現時点での渡航制限の実施は控えるよう呼びかけた。変異の影響を把握するには数週間程度かかるとの認識も示した。